Vestax®

PDT-5000

取扱説明書

VESTAX CORP.
2-37-1 Kamiuma, Setagaya-ku, Tokyo 154
Phone : 03-3412-7011 Fax : 03-3412-7013
VESTAX MUSICAL ELECTRONICS CORP.
2860 Cordelia Rd. Suite 120 Fairfield, CA 94585 U.S.A.
Phone : 707-427-1920 Fax : 707-427-2023
VESTAX (Europe) Ltd.
18 St. Christophers Road, Haslemere, Surrey GU 27 10Q England.
Phone : 0428-653117 Fax : 0428-661021

ごあいさつ

この度は、VESTAX PDT-5000をお買上げ戴きまして誠にありがとうございます。ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

特　徴

- ハイトルク ダイレクトドライブ モーターの採用により、起動トルクは1.6kg・cm 重量級ターンテーブルがわずか 0.5秒(33⅓ rpm時)でたち上がり、頭だしがタイミングよく行えます。
- トーンアームは世界初のフローティング サスペンションシステム採用により、ハウリングを極力防止することに成功しました。
- 回転制御に連続2ピッチコントロール方式を採用、極めて正確な回転精度を保ったまま±10%の範囲でピッチを連続的に変化させることができます。又、ピッチフェーダーはクリックを持たないために全域にわたり微妙な調整も可能です。
- ピッチフェーダーはデタッチャブル フェーダー システム方式によりメンテナンスを容易にしました。
- クォーツロックには、ON／OFF切替えスイッチを採用し、ピッチを変化させていても、瞬時に定速回転に切替えられます。
- 大型バックライト付ピッチメーターにより演奏中のレコードのピッチを容易に確認することができます。
- 針先を照明するライトは、取外し可能なデタッチャブル ミニライトを採用しました。
- スタート／ストップを外部(フットスイッチ等)でコントロールするためのリモートコントロール端子を装備しています。
- 電子ブレーキ機構を採用していますので、ワンタッチで素早くブレーキがかかります。
- ラバー製ボタンはタッチ感がよく、操作性に優れています。
- 4つの大型インシュレーターが、外部振動の悪影響を効果的に抑止します。
- スクラッチプレイが可能なスリップマットを付属しました。

安全上のご注意

●本機は交流(AC)電源100V専用ですので、直流電源や他の異なる電圧の交流電源に直接つないで使用することはできません。なお、本機は電源周波数(50Hzまたは60Hz)の調整が必要です。調整をしませんと正しく演奏ができませんのでご注意下さい。
●電源プラグをコンセントから抜くときは必ずプラグを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くとコードを傷めてしまいます。
●水等に濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。
●ビニール等の被膜が切れたりこすれたりして電線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また、本機内部に水等の液体や可燃物およびピン等の金属類を入れないようにご注意下さい。感電や故障の原因となります。
●本機外装のカバーを取り外して内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災等について、弊社はその責任を負いません。

設置上のご注意

常温(5～35℃)、通風が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。アルコールやシンナー等の溶液で塗装面をふかないで下さい。塗装がはげることがあります。

アフターサービス

1. 本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管して下さい。
2. 保証期間中は、保証書の記載内容により、弊社サービス機関が修理いたします。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または弊社サービスにご相談下さい。保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

取扱い上のご注意

1. 針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。

針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まります。
トーンアームからシェルごと取はずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、ていねいに取り除いてください。
また、レコード盤も良質のレコードクリーナでよくふいてください。

2. シェル端子は時々ふいてください。

シェルをトーンアームからはずしておきますと、シェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こし、雑音が発生したり、ハムが大きくなったり、また、音が出なくなる場合がありますので、柔らかい布などで、シェル端子をふいてから、トーンアームに取りつけてください。

3. シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを"0"にするか、アンプの電源を"OFF"にしてから行ってください。

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと、不愉快な音がするだけでなく、スピーカをいためる場合があります。また、シェルを着脱する場合は、針先保護のため、針カバーをしてください。

4. ハウリングとハムについて

ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウオーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。
ハムノイズは、他の電源製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。また、ハムやノイズはアースを正しくとらないと発生します。アース線をアンプ、ミキサーのGND端子にしっかり接続してあるかどうかチェックしてください。

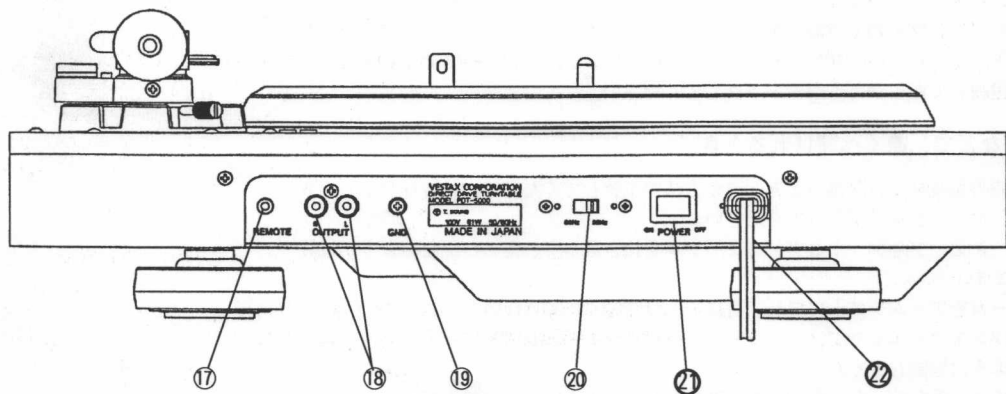
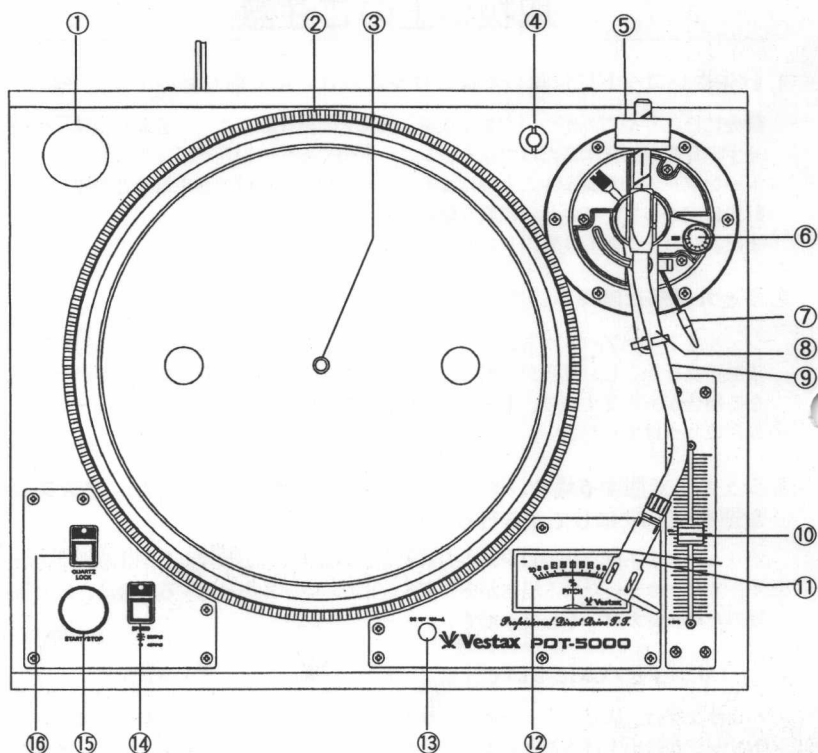
5. 転宅などで、遠くへ運ばれるとき。

購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。

- ●ターンテーブルシートとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
- ●アームをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- ●バランスウェイトやシェル／カートリッジは、アームから取はずし、傷のつかないように包装してください。
- ●本体は、毛布や、柔らかい紙で、傷のつかないように包装してください。

各部の名称

フロント部

① EPレコード用アダプタ
② ターンテーブル
③ センタースピンドル
④ カートリッジスタンド
⑤ バランスウェート
⑥ アンチスケーティングつまみ
⑦ キューイングレバー
⑧ アームレスト
⑨ トーンアーム
⑩ ピッチコントロールフェーダー
⑪ ヘッドシェル
⑫ ピッチメーター
⑬ デタッチャブルミニライト
⑭ スピード切替えボタン
⑮ スタート／ストップボタン
⑯ クオーツロック
　ON／OFFボタン

リアパネル部

⑰ リモートコントロール端子
⑱ アウトプット（出力）端子
⑲ GND端子
⑳ 周波数（50Hz／60Hz）切替えスイッチ
㉑ パワースイッチ
㉒ 電源コード

お使いになる前に

本機は一部の部品を取り外して包装しております。部品が揃っているか確認してください。

1. 本　体
2. ターンテーブル
3. スリップマット
4. シェルウエイト
5. シェル
6. バランスウェイト
7. EPアダプタ
8. RCAケーブル
9. GNDケーブル
10. デタッチャブルライト

組立て方

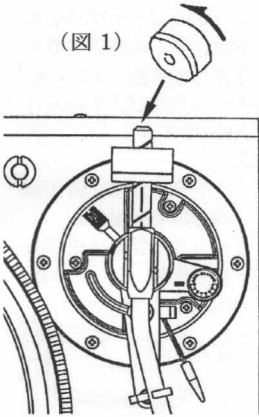
組み立て調整がすべて完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないで下さい。

ターンテーブルの取りつけ

1. ターンテーブルをセンタースピンドルにはめます。
2. スリップマットをのせます。

ご注意：ターンテーブルを取りつける場合、本体に当てないようにご注意下さい。

（図 1）

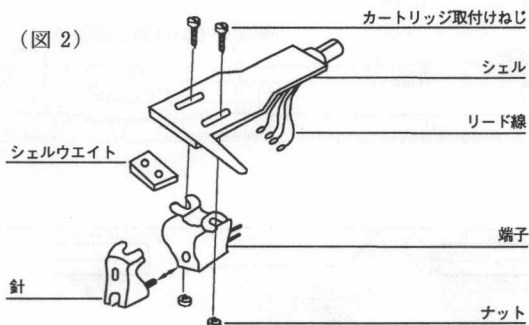
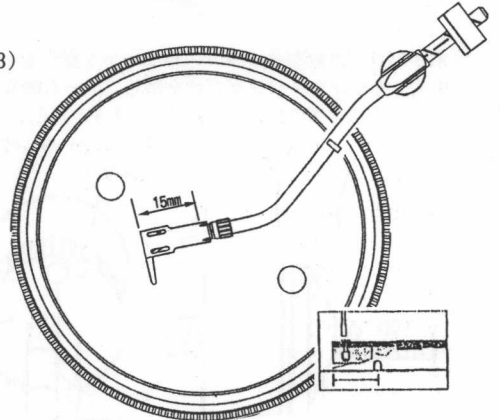
バランスウェートの取付け

1. バランスウェートをトーンアーム後方から入れ(図1)正面から見て左回り図1の矢印の方向に廻します。

カートリッジの取付け

1. 図2を参考に、ご使用のカートリッジ説明書に従って取付けて下さい。又、カートリッジをヘッドシェルの先端と平行に取付けます。
2. カートリッジのリード線のL，R極性は以下のようになっています。

　赤のリード線……R＋　　白のリード線……L＋
　緑のリード線……R－　　緑のリード線……L－

ご注意：軽いカートリッジ(4g～5g)を取付ける場合は、付属のシェルウェイトをご使用ください。

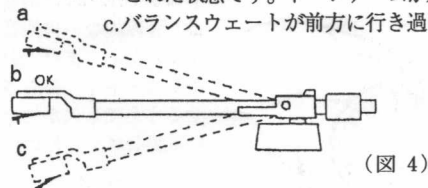
（図 2）

（図 3）

オーバーハングの調整

1. カートリッジを取付けましたら、次にオーバーハングの調整をします。このオーバーハングが正しく調整されていないと再生音に歪みをきたしたり,針とびを起こす原因となります。本機の標準オーバーハング値は15㎜となっています。定規等を使ってオーバーハングの調整をして下さい。(図 3)
2. カーリッジの取付けビスをドライバーでゆるめます。
3. トーンアームをセンタースピンドル上に移動させて下さい。
4. 針先とセンタースピンドルの間隔が15㎜になるようにカートリッジを前後に動かします。
   (ご注意）カートリッジを前後に動かす際、針先が指やターンテーブルに触れて破損することのないよう、慎重に行って下さい。
5. オーバーハングが正しく調整できましたら、トーンアームをアームレストに戻し、カートリッジの取付けビスを締めて固定します。

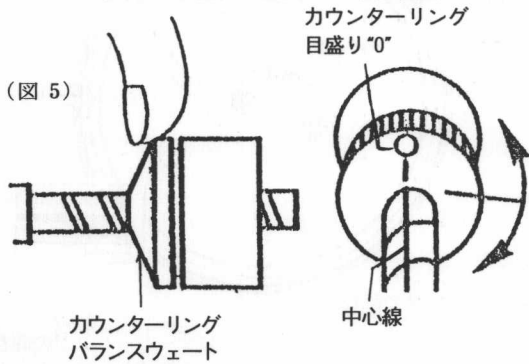
水平(ゼロ)バランス調整

1. アンチスケーティングの目盛りを"0"に合わせます。
2. 針先にふれないように注意して、針カバーをはずし、トーンアームをアームレストから離してフリーの状態にします。
3. バランスウェートを廻しながらトーンアームが水平になるように調整します。この時、キューイングレバーはFに倒しておきます。

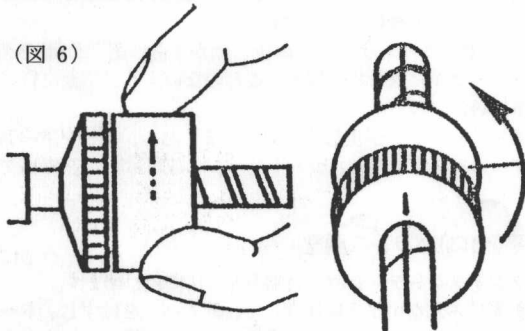
　調整例（図4）
　　a.バランスウェートが後方に行き過ぎています。
　　b.バランスウェートとカートリッジのバランスがとれた状態です。トーンアームが水平になります。
　　c.バランスウェートが前方に行き過ぎています。

（図 4）

4. 水平バランスを調整した後トーンアームをアームレストに戻します。
   (ご注意）水平バランス調整するとき、カートリッジの針先がターンテーブルや本体に触れないようにして下さい。

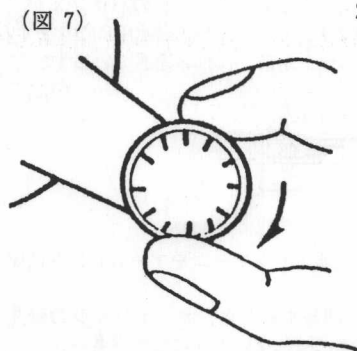
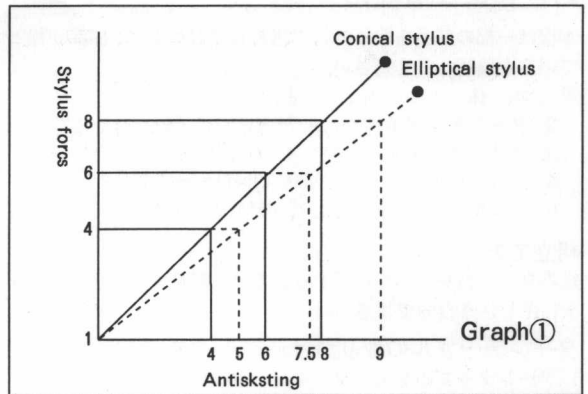
5. 水平バランス調整後バランスウェートを動かないように指で支え、カウンターリングだけを廻し、アーム軸の中心線にカウンターリングの目盛"0"を合わせます。(図5)

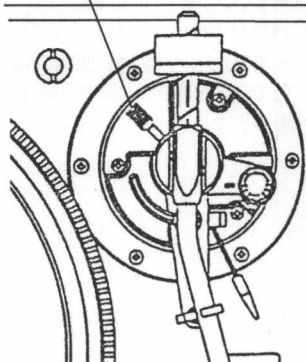
(図 5)

(ご注意) バランスウェートが動いてしまった場合は、もう一度水平バランス調整からやり直して下さい。

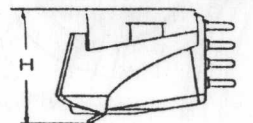
6. バランスウェートを図6の矢印方向に廻してカートリッジ指定の針圧に合わせます。バランスウェートを廻しますとカウンターリングも一緒に動きますから、カウンターリングを直読みしながら適正な針圧に調整します。(図6)

(図 6)

アンチスケーティングの調整

1. アンチスケーティンクのツマミを、針圧と同じ値にします。(図7)(ご注意) 針の形状により値が変わることがありますので、Graph① を参考にして調整して下さい。

(図 7)

2. 正しい針圧調整、アンチスケーティング調整は、歪みのない再生音を得るため、また、針やレコードを長持ちさせるうえでも欠かせない重要なポイントです。

アームの高さ調整

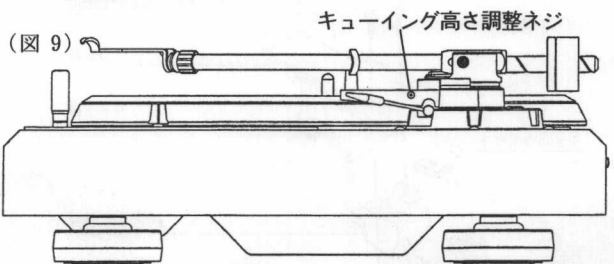
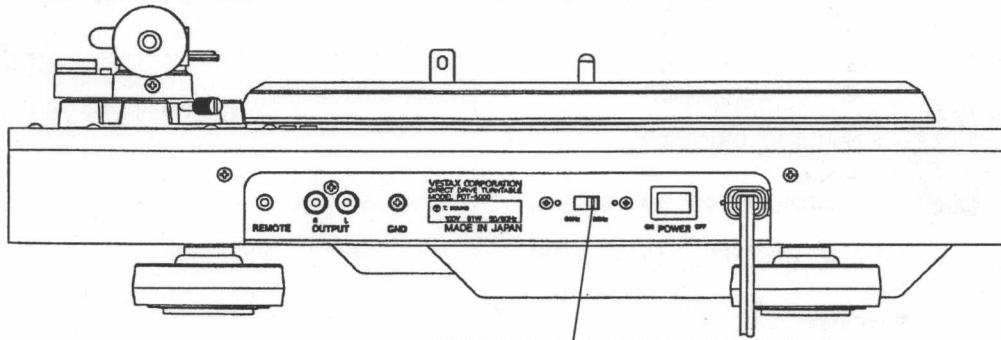
(図 8)

ご使用カートリッジによりアームの高さ調整が必要な場合、アーム高さ調整ネジを廻して調整します。(図8)
アームの高さ調整範囲は最大6㎜です。

例：
カートリッジの寸法 15㎜
高さ調整必要なし
カートリッジの寸法 21㎜
高さ調整 +6㎜

H:……カートリッジの寸

キューイング装置の高さ調整

アームリフトの高さ(キューイングレバーを上げた状態での針先とレコード面の間隔)は工場出荷時に適正の高さに調整していますが、ご使用カートリッジによってとくに調整が必要な場合は下記手順で調整して下さい。

1. 針先保護のため針カバーをします。
2. ターンテーブルが回転しないようにパワーSWをOFFにします。
3. キューイング高さ調整ネジをプラスドライバーでゆるめ、高さを調整して下さい。(図9)

(図 9)

周波数(５０Hzまたは60Hz)切替えスイッチ

電源周波数の調整

本機は、電源周波数の調整が必要です。ご使用する地域によって(50Hzまたは60Hz)必ず調整して下さい。
①端子面に周波数切替えスイッチがありますので、ご使用になる地域にあった周波数(50Hzまたは60Hz)をご確認の上、周波数切替えスイッチでセッティングしご使用下さい。
(ご注意) 地域の電源周波数と異なる周波数のままでご使用になりますと正しく作動しません。

ピッチコントロールによる回転数の微調整

1. パワースイッチをONにして電源を入れます。
2. クオーツロックランプが点灯している時は、規定の回転数が(33⅓か45rpm)が得られます。
3. ピッチを変えたい時にはクオーツロックボタンを押し、ランプが消えるのを確認してからピッチコントロールフェーダーを動かして下さい。
4. ピッチコントロールは、約±10%可変できますから、ピッチメーターの目盛りを目安にピッチコントロールフェーダーを動かして調整してください。
4. ピッチメーターの数値は、およその%を示しています。

クオーツロックについて

① クオーツロックインジケーターが点灯している時は、規定の回転(33⅓rpm, 45rpm)がえられます。
② ①の状態から、
クオーツロックボタンを押すと、クオーツロックインジケーターが消えて、クオーツロックが解除され、ピッチコントロールが可能な状態になります。
③ ②の状態から
規定の回転数(33⅓rpm, 45rpm)に戻したい時は、クオーツロックボタンを押すと、クオーツロックインジケーターが点灯し、ピッチコントロールフェーダーがどんな位置にあっても瞬時に規定の回転数(33⅓rpm, 45rpm)に戻ります。

プレーヤの設置

1. 外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。
2. スピーカシステムからできるだけ離して設置してください。
3. 直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
4. 通風の良い場所を選んでください。
5. ラジオ(FM／AM) を極端に近づけますと、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

接続のしかた

1. PHONO端子の接続

PHONO端子側		ミキサー側
白色 (L)	→PHONO L	の入力端子へ
赤色 (R)	→PHONO R	の入力端子へ
黒色 (アース線) →	GND	の端子へ

(ご注意) アース線の接続は必ず行って下さい。アース線を接続しませんと電源ハム(ブーンという音)が出ます。

2. 電源プラグの接続
電源プラグをコンセントに接続します。
(ご注意) 本機は交流(AC)電圧100Vでご使用いただくようになっています。200Vの電圧や直流(DC)電源には絶対接続しないでください。
3. リモートコントロールについて
本機には演奏のスタート／ストップをサイクリックに行うリモートコントロール機能を装備しています。リモートコントロール端子にフットスイッチ等を接続してご使用下さい。

端子配列： ホット —— 3.5Φミニプラグ
コールド(GND)

演奏のしかた

1. レコード盤をターンテーブルシートにのせます。
2. リアパネルのパワースイッチを押し電源をONにします。
3. 針カバーをはずします。
4. スタート／ストップボタンを押します。ターンテーブルは回転します。
5. キューイングレバーを起こします。トーンアームは上昇します。
6. トーンアームをレコード盤上に移動します。
7. キューイングレバーを倒します。トーンアームは静かに下降し演奏が始まります。
8. 演奏が終わりましたら、トーンアームをアームレストに戻します。また、針先保護のため針カバーをつけておいてください。
9. スタート／ストップボタンを押します。ターンテーブルは電子ブレーキによりなめらかに停止します。その後、パワースイッチをまわして電源をOFFにしてください。
   （ご注意）スタート／ストップボタンを押さずにパワースイッチをOFFにした場合、電子ブレーキは働きません。
10. 演奏を一時中断する場合。
    キューイングレバーを起こします。カートリッジの針先はレコード盤より離れます。
11. EPレコードの演奏
    EPレコード用アダプタをセンタースピンドルにはめます。
12. デタッチャブル ミニライトについて
    本機には演奏中に針先を照らす、取外し可能なデタッチャブル ミニライトが付属されています。特に必要のない場合には、取り外してご使用になれます。

SPECIFICATION

TURNTABLE	MOTOR	DIRECT DRIVE QUARTZ
	STARTING UP TIME	0.5sec (33⅓rpm) 70°
	STARTING TORQUE	1.6kg／cm
	BRAKING SYSTEM	ELECTRONIC BRAKE
	RAMBLE (S／N RATIO)	78dB (IEC 98A WTD)
	SPEED	33⅓rpm, 45rpm
	PITCH	±10% (DETOUCHABLE 100mm FADER)
	WOW & FLUTTER	0.03% W. R. M. S.
ARM	TYPE	STATIC BALANCE'S SYSTEM (ALMOST ZERO ACOUSTIC F. B)
	EFFECTIVE LENGTH	230mm ±1mm
	OFFSET ANGLE	22°
	OVER HANG	15mm
	TRACKING ERROR	+2° 32′ ～+0° 32′
	CUEING DIVICE	OIL DAMPLING TYPE
	ANTI SKATING	ADJUSTMENT RANGE 0～7.0 g
	STYLUS PRESSURE	ADJUSTMENT RANGE 0～7.0 g
	ARM HIGHT	ADJUSTMENT RANGE 43～49mm
	LIGHT	DETOUCHABLE MINI LIGHT DC12volt 100mA
	PITCH METER	ANALOG METER with INDICATOR
	SPEED LOCK	QUARTZ LOCK
	REMOTE	MOMENTARY START (MINI JACK)
	DIMENSION	(W)450mm×(H)136mm×(D)370mm
	WEIGHT	11kg
	POWER	AC 100V